



こんにちは
加藤ひろし
です

第67号

私の活動地域
晴海・勝どき・豊海町
築地・浜離宮庭園

<らしゃ区政のご相談
お気軽にお電話ください
3551-6820 (事務所)
3533-0583 (自宅)

日本共産党中央区議会議員 私のブログもご覧ください 『こんにちは加藤ひろしです』で検索!

「戦争法案」にも、 オスプレイ横田基地配備にも理解を示す区長



質問をする奥村あき子議員

安倍政権は、日本をアメリカと一緒に戦争する国につくり変えてしまう「安保関連法案（国際平和支援法、平和安全法制整備法）」今国会に提出しました。

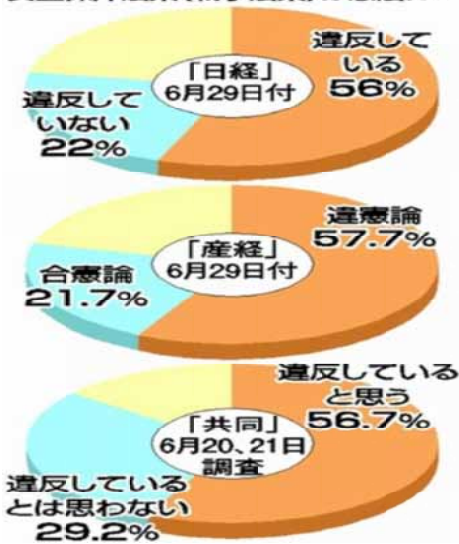
奥村議員は、アメリカが起こした戦争に世界のどこでも自衛隊が参加し、これまで違憲としてきた集団的自衛権の行使まで憲法解釈を変えて認めようという「戦争法案」に、反対の声が増しに強くなっていることを示し、「安保関連法案」についての区長の認識を問い、「戦争法案」に反対することをまとめました。

「戦争法案」に理解を示す区長

6月19日から30日にかけて第2回定例会が開催され、22日には、日本共産党区議団を代表して奥村あき子議員が一般質問に立ちました。

区長は「将来にわたり国民の命と平和な暮らしを守り抜くため、必要最小限の自衛の措置」「憲法と整合性が保たれている」「国の責任で決定されるものと考える」と、「戦争法案」の成立に理解を示しました。

安全保障法案(戦争法案)は憲法に…



驚くべき区長答弁

奥村議員が「日本が攻められた場合は『個別的自衛権』。今問題になっている『集団的自衛権』は、日本が攻められていなくてもアメリカが起こす戦争に日本が参加するもの。自民党の元幹部や多くの憲法学者が『憲法違反』と指摘している」など、「戦争法案」の問題点や危険性を指摘し再答弁を求めたところ、区長は「憲法は残ったけれど、国が滅びたのではないけない」と憲法軽視の答弁をしました。

しんぶん赤旗7月5日号より

築地市場移転反対・現在地で再整備を

日本共産党中央区議団ニュース

2015年7月上旬号 中央区築地1-1-1
電話3546-5563, FAX3546-9570

横田基地へのオスプレイ配備にも 理解を示す区長

アメリカ政府は、5月11日、事故が相次ぐ空軍の垂直離着陸輸送機CV22オスプレイを、2017年以降、横田基地に新たに配備する方針を、日本政府に通報しました。沖縄県以外でのオスプレイ配備は初めてです。その直後の17日にはハワイ・オアフ島で、またも墜落事故が起きました。

奥村議員は「特殊訓練に使われるCV22オスプレイの配備は、降下訓練や低空飛行、夜間訓練など危険度の高い訓練・飛行を、首都圏をはじめ全国に広げるもの」と指摘し、国民の命や安全よりもアメリカの言い分や都合を優先させる日本政府の姿勢を批判しました。そして、政府の姿勢に、周辺自治体や地域

奥村あき子議員の質問項目

- 一. 安全保障関連法案について
- 二. オスプレイ横田基地配備について
- 三. マイナンバー制度について
- 四. 有料化された区立駐輪場について
- 五. 子育て支援について

の住民から驚きと怒りの声が出され、安全性などの説明を求める声が広がっていることを紹介し、「ただちに配備計画を撤回すべきではないか」と区長の見解を問いました。

区長は「オスプレイは日米同盟による抑止力・対処力の向上やアジア・太平洋地域の安定に資するとともに、災害時の人道支援や災害救援活動に役立つものと国が判断し、配備するものと理解している」と答弁しました。

※奥村議員の全質問は区議会HPより音声にてお聞きいただけます。

「安保関連法案（戦争法案） 慎重審議を求める意見書」提出 するも実らず

今定例会に、日本共産党区議団は、「今国会における『安全保障関連法案』の採決を見送り、慎重な審議の継続を求める意見書（案）」を提案しました。

幹事長会で取扱いを審議した結果、自民党は「憲法9条違反ではない」、公明党は「戦争を起させないための法整備」と主張、民主党は「この案には若干のりきれない」とし、賛成しませんでした。維新の党は「文面を何回も読んだ。事実に基づいて書いてある」と賛成しました。中央区議会は、全会派一致でなければ意見書は本会議に提出しないルールがあるので、この意見書は実りませんでした。

弾薬の補給 武器の輸送

「兵たんは戦闘と一体不可分」 と米海兵隊教科書

政府のいう「後方支援」＝弾薬や燃料の補給、武器や兵員などの輸送、壊れた戦車の修理などは、国際的には「兵たん」と呼ばれる活動のこと。攻撃のいちばんの目標とされるのは軍事の常識です。

自衛隊が「兵たん」をしている場所が戦場となるのです。米軍教科書は「戦闘と一体不可分」と明記。「武力の行使と一体ではない後方支援」などという政府のごまかしは世界では通用しません。海外での武力行使を禁じた憲法をふみにじる「戦争法案」は廃案しかありません。